

川村亘平斎とあだち麗三郎の影絵と音楽

チケット	全席指定	4/25(日)～販売開始 Jointo 倶楽部割引対象外	
	一般	前売:2,500円	当日:3,000円
	高校生以下	前売:500円	当日:500円
	車いす・障がい者※	前売:1,500円	当日:1,500円

2公演をおトクに楽しもう！
枚数限定 セットチケット発売中！
4,000円(一般のみ)

※南砺公演のみ 車いす・障がい者チケットは、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉保健手帳をお持ちの方と車いすを使用している方が対象です。手帳をお持ちの方は購入時にご提示ください。ヘリオスの窓口または専用フォームにて受付。

※未就学児童の入場はご遠慮ください

プレイガイド

南砺公演
e+ (イープラス)
ローソンチケット Lコード: 51895
アーツナビ (富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)
【南砺市】南砺市福野文化創造センター、井波総合文化センター、じょうはな座
【射水市】大門総合会館

射水公演
アーツナビ (富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)
【射水市】大門総合会館、高周波文化ホール (新湊中央文化会館)、アイザック小杉文化ホール
【南砺市】南砺市福野文化創造センター

影絵ワークショップ開催！

親子で参加！影絵ワークショップ開催決定！影絵との人形や仮面を作って公演に出演しよう！

南砺公演
日時: 2021年6月9日(水)～10日(木)18:30～20:00 ※12日(土)リハーサルあり
会場: 福野文化創造センター
定員: 親子5組10名
受講費: 一般3,000円、高校生以下1,000円 (ともに公演チケット料金含む)

射水公演
日時: 2021年6月7日(月)～8日(火)18:30～20:00 ※13日(日)リハーサルあり
会場: 大門総合会館
定員: 親子5組10名
受講費: 一般3,000円、高校生以下1,000円 (ともに公演チケット料金含む)

新型コロナウイルス感染拡大の防止対策について

●マスクの着用、手指消毒をお願いいたします。●発熱、咳等の風邪症状があるお客様、体調に不安のあるお客様は、ご来場をお控えください。●入場時に検温をさせていただきます。●新型コロナウイルス感染症発生時の経路追跡の為、チケットの半券への緊急連絡先(氏名・電話番号)記入にご協力ください。●座席は間隔を空けた配置とします。そのほかの取り組みは各館HPでご確認ください。

お問合せ

南砺市福野文化創造センター
富山県南砺市やかた100
TEL: 0763-22-1125
info@nantohelios.jp
www.nantohelios.jp

大門総合会館 / (公財) 射水市文化振興財団
富山県射水市大門67
TEL: 0766-52-0564
daimon@imizubunka.or.jp
www.imizubunka.or.jp

川村亘平斎と あだち麗三郎の 影絵と音楽

令和3年度 富山県公立文化ホールネットワーク公演事業

南砺と射水 山と海
二つの異界をむすぶ川
人と自然の営みの
不思議伝える民話たちが
影絵芝居に生まれ変わります。

2021 6.12(土) 18:30 開場 17:30

南砺市福野文化創造センター 円形劇場ヘリオス

2021 6.13(日) 15:00 開場 14:30

射水市大門総合会館 大ホール

【主催】南砺市福野文化創造センター、(公財) 射水市文化振興財団
【後援】富山県、富山県公立文化施設協議会、射水市、射水市教育委員会、北日本新聞社、富山テレビ放送、FMとやま、エフエム石川、FMとなみ、射水市ケーブルネットワーク(株)、となみ衛星通信テレビ

南砺と射水 山と海 二つの異界をむすぶ川

人と自然の営みの不思議伝える民話たちが影絵芝居に生まれ変わります。

影絵は「光」と「影」によってつくられる非常にシンプルなものですが、シンプルだからこそ、その物語の記憶や気配を引き出し、私たちに様々な風景を見せてくれます。

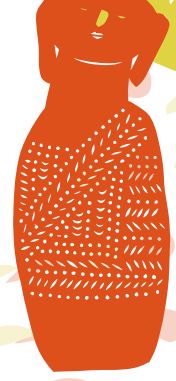
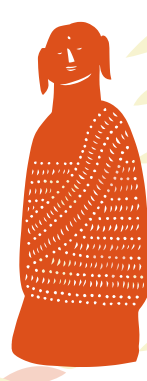
日本を代表する影絵師・川村亘平斎は、全国各地に残る様々な民話や伝統文化を影絵作品として再生させています。インドネシア・バリ島発祥の影絵をベースにした、物語をつくるために訪れた地域や人々、一緒にパフォーマンスする芸術家から刺激を受けて創り上げられる唯一無二の影絵を、現代音楽家・あだち麗三郎が音楽で彩ります。

2年前にヘリオス公演のために書き下ろされた「NAWAGAIKE(縄が池)」は、小さなお子さんからご年配の方まで、ご来場いただいた皆さんに大好評で幕を閉じました。

今回は南砺市と射水市を舞台にした2つの新しい物語の制作・上演が決定!川村さんは4月上旬に射水と南砺で4日間にわたるフィールドワークを行い、地域の歴史や文化に詳しい皆さんや民話で伝わる場所を訪ねました。

お話のタネをたっぷり持ち帰り、現在鋭意創作中!

両方見ても、どちらか一つでも大満足な、時間芸術が繰り広げる、ダイナミックかつ繊細でユニークな体験をお届けします!



川村 亘平斎

1980年、東京生まれ。インドネシア共和国・バリ島に2年間滞在し、影絵人形芝居【ワヤン・クリット】と伝統打楽器【ガムラン】を学ぶ。世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。日本各地でフィールドワークやワークショップを行い、土地に残る物語を影絵作品として再生させる活動が高く評価されている。

絵本【おそなえきのみ】(‘18)、シネマ歌舞伎「The DOGGY’s LOOK」影絵演出(‘19) NHK Eテレ「こころの時代」影絵演出(‘20)写真集【東京影絵】(川村亘平斎・宮本武典共著)ほか、切り絵、イラストや映画、CMへの楽曲提供など幅広く活動している。ガムランを使った音楽ユニット【滞空時間】主宰。

平成28年度第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞。

富山での上演は2018年度にヘリオスでの公演のため書き下ろした「NAWAGAIKE(縄が池)」に続き2回目。過去の制作地域を再度訪れ、また別の新しい作品を制作するのは初めての試みとなる。



あだち 麗三郎

1983年1月生まれ。音楽家。からだの研究家。少年期をアトランタで過ごし、18歳からドラムとサクソフォンでライブ活動を始めました。風が吹くようなオープンな感覚を持ち、片想い、HeiTanaka、百々和宏とテーブルコース、寺尾紗穂(冬にわかれて)、のろしレコード(松井文&折坂悠太&夜久一)、折坂悠太 東郷清丸、滞空時間、前野健太、cero、鈴木慶一、坂口恭平、GUIRO、などで。

シンガソングライターでもあり、独自のやわらかく倍音を含んだ歌声で、ユニークな世界観と宇宙的ノスタルジーでいっぱいのうたを歌います。プロデューサー、ミキシングエンジニアとしても立体的で繊細な音作りの作品に多数携わっています。



kauai hirótomo

1992年生まれの音楽家。あだち麗三郎と美味しい水では主にヴィブラフォンを、東郷清丸ではドラムを演奏。新旧問わず世界中(特に東欧、ポルトガル、アルゼンチン、ブラジル、アメリカ、太平洋)の音楽が好きです。オルタナティブ、ジャズ、クラシック、現代音楽、インディー・クラシック、タンゴ、フォーク、ロック、ポップスが特に興味があります。緑が大好きです。都会が大好きです。この2つが調和したSFちっくな街があったら素敵だろうなと思っています。そんな街を作ってみたいです。僕は音楽家なので、そんな街で鳴らされる音楽を作っています。

2019年8月21日に1stアルバム“Another Galaxy”をトノフォンよりリリース。



KUDO AIKO

岩手県生まれ。ボーカリスト。

ヒトの「声」を軸に、自他国の伝統音楽や歌唱法などを研究し、それらをヒントに表現を探索する。他アーティストのコーラスや映像、CMなど、ジャンルレスに活動。



GUEST

ジャック・リー・ランダル & 広田郁世

富山を代表する影絵ユニット。アメリカ・ジョージア州アトランタ出身で、15年以上県内各地で人形と影絵のパフォーマンスを行うジャック・リー・ランダル。

日本画家、舞台美術、影絵・人形劇団の主宰、原画・人形制作、操演など、多才に活動する広田郁世。

2台のOHPを駆使して、映画のような緻密な世界を繰り広げ、近年は影絵と和楽器、日本の昔話や怪談を融合させた作品を数多く上演している。